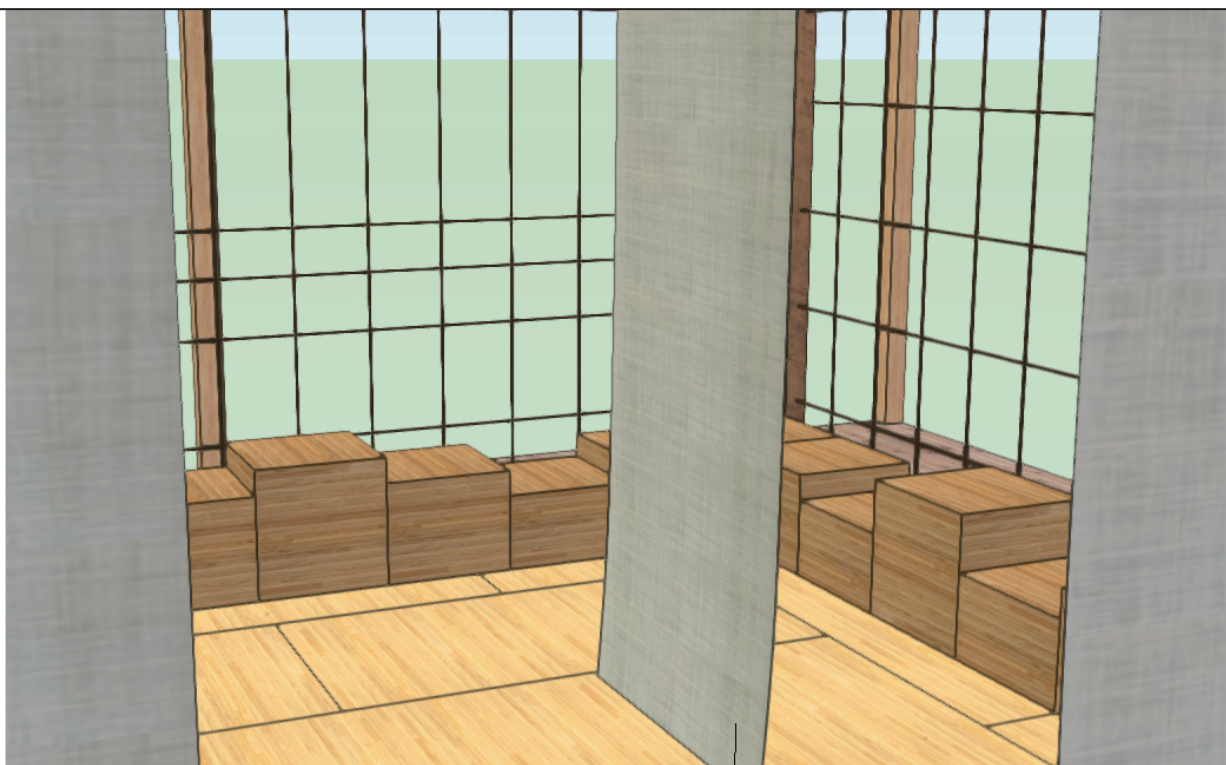
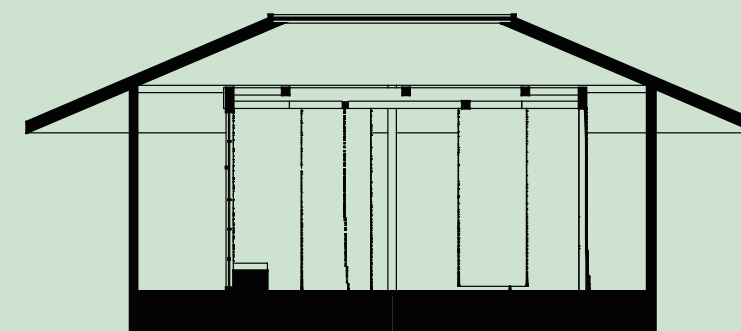


材料～ materials ～

畳には竹畳を採用し、屋外に設置することで、土足での使用を可能とする仕様としている。竹畳は一般的な畳に比べて耐水性や耐久性に優れ、通気性が高いため、屋外環境においても劣化しにくく、快適な使用感を維持できる特徴を持つ。また、竹素材は湿気の影響を受けにくく、カビやダニの発生を抑制する効果がある。木材の選定においては外装に耐久性と抗菌性に優れたヒノキ材を使用し、防腐剤を塗装することで耐候性を向上させている。これにより、外気や雨風による劣化を抑え、長期使用が可能になる。一方、内装には安価で耐久性の高いセランガンバツを採用。軽量で加工がしやすいため、施工の負担を軽減しつつ、デザインの自由度を確保している。



天井は、梁を交差させて暖簾をかけられるようにすることで、休憩所を使う人が自由に仕切りをつけたり、外したりできるようにした。



1 断面図
Scale: 1:100

私たちは、和と洋の要素を融合させた中間的な表現技法を提案する。例えば、畳の使用においては、従来の土足厳禁という概念を見直し、屋外でも使用できる竹畳を採用することで、より開放的な空間を実現している。また、屋根には日本の伝統的な方形屋根を採用し、懐かしさと現代的な利便性を兼ね備えたデザインを目指した。さらに、ウッドデッキのような縁側の設置により、内と外が自然に繋がり、外部の風や光を取り入れることができるようになっている。川越の蔵造りの街並みは景観保護の制約がある中で、和風の外観に海外文化が巧妙に取り入れられている。この異文化の融合により、伝統と革新が調和した空間が生まれ、訪れる人に新たな体験を提供している。